

鎌倉歴史文化交流館 企画展図録『女学生がみた近代の鎌倉』

【正誤表】下記の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。

P18【誤】耐恒寮を継承した唐津伝習所 【正】耐恒寮があった唐津城  
二の丸の藩主屋敷跡に開かれた唐津伝習所

【誤】昌平饗（江戸幕府の学問所・昌平坂学問所の後身）の教授で  
あった 【正】削除

P19<sup>2</sup>【誤】唐津伝習所は、旧唐津藩洋学校であった耐恒寮の後を受け  
継いだ学問所 【正】唐津伝習所は、耐恒寮があった唐津城  
二の丸の藩主屋敷跡に開かれた教員養成所

P19・21（1903）【誤】第二開成中学校 【正】第二開成学校

P22【誤】柴山弥八 【正】柴山矢八

P25<sup>7</sup>【誤】追悼の意を表した賦。賦とは（中略）決まっていない。  
【正】追悼の意を表した詩。

P26【誤】故郷唐津の芙蓉詩社 【正】佐賀の芙蓉詩社

P26<sup>10</sup>【誤】妻の鉄（1884～1941）との間には、四男三女をもうけた  
【正】妻の鉄との間には、三男四女をもうけた

P27<sup>11</sup>【誤】記栄篇（栄篇に記す） 【正】記栄篇

P28<sup>12</sup>【誤】大橋康邦（1865～1948、号は観籟）  
【正】大橋正堯（1865～1948、号は康邦・観籟）

P30<sup>14</sup>【誤】推敲を重ねた 【正】添削を受けた

P39<sup>19</sup>【誤】「敦厚」（誰に対しても丁寧に接すること）  
【正】「敦厚」（親切誠実で人情に厚いこと）

P44<sup>25</sup>【誤】（丹青の引を曹將軍霸に贈る）  
【正】（丹青の引 曹將軍霸に贈る）

P45<sup>27</sup>【誤】逗子開成中学校生徒ボート遭難の弔辞 明治43年（1910）  
逗子開成中学校の校庭で行われた追悼大法会の際に、校長の  
田辺新之助が述べた弔辞の原稿。悲惨な事故を嘆き、尊い12  
名の御霊が安らかに眠ることを祈っている。大法会には（中  
略）したという。

【正】逗子開成中学校生徒ボート遭難の祭文 昭和15年（1940）  
遭難事故から30年後の昭和15年1月23日の慰霊祭の際に、  
田辺新之助が奉読したと考えられる祭文の原稿。悲惨な事故  
を嘆き、尊い12名の御霊が安らかに眠ることを祈っている。

P78<sup>27</sup>【誤】弔辞 明治43年（1910） 【正】祭文 昭和15年（1940）